

第（ 2 ）年 音楽科の授業

音楽科の目標・特性	<p>(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。</p> <p>(2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。</p> <p>(3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。</p>
評価	<p>関心・意欲・態度</p> <p>音楽に幅広く関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>「アピールシート」による毎時間の自己評価表の活用</p>
の観	<p>音楽的な感受や表現の工夫</p> <p>発想豊かに音楽の表現（感受）を工夫することができる。</p>
点	<p>表現の技能</p> <p>音楽の表現や鑑賞に必要な知識や技能を活用することができる。</p>
	<p>鑑賞の能力</p> <p>音楽を深く聴き取り、そのよさや美しさを味わうことができる。</p>
授	<p>題材（実施月）</p> <p>到達目標</p>
業 内 容 ・ 単 元	<p>歌声をみがこう (4月・5月)</p> <p>「夢の世界を」 ・「ラヴァースコンチェルト」 「翼を下さい」 「サンタルチア」</p> <p>○合唱する喜びを味わうことができる。 ○明るい歌声で曲の特徴を生かした表現を工夫することができる。 ○アレンジによる感じの変化を感じ取りながら表現を工夫することができる。</p>
構 成	<p>合唱の響きを楽しもう (6月～11月・1月～3月)</p> <p>「心の中にきらめいて」 「川中祭・音楽祭・卒業式の歌」</p> <p>○曲の構成を生かして表現を工夫することができる。 ○声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱することができる。</p>
	<p>曲の仕組みを理解して 聴こう (6月～7月)</p> <p>「交響曲第5番」</p> <p>○曲の構成を感じ取りながら、曲全体を味わって聴くことができる。</p>
	<p>心の歌 (10月)</p> <p>「浜辺の歌」「荒城の月」</p> <p>○歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫することができる。</p>
	<p>時代と音楽 (11月)</p> <p>「フーガ短調」</p> <p>○作曲された時代背景や演奏する楽器の仕組みを知り、その特有の響きを味わうことができる。 ○曲の構成を理解し、それによって作り出される音楽の面白さを感じながら鑑賞することができる。</p>
	<p>日本の音楽に親しもう (1月～2月)</p> <p>「日本の民謡」</p> <p>○日本の郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむことができる。 ○「福知山音頭」の生まれた背景を探り、実際に歌ったり、踊ることができる。</p>
学習に使用する教科書・副教材・材料・道具・ファイルなど	<p>音楽の教科書2-3上、器楽の教科書、スケッチブック、プリント 五線ノート</p>

音楽科の学習

学習の前に

○様々な時代・地域の、様々なジャンルの音楽を聴き、音楽表現の幅を広げることや、自分にとって特別な音楽をじっくり聴き、音楽表現の奥行きを深めることをしておきましょう。

授業中

○意欲的に音楽に参加することで表現が自分のものになってきます。どんな演奏をするときも積極的に音楽に取り組みましょう。

○合唱・合奏の時は互いに音楽を共有しながら表現していくことを心がけましょう。

○音楽が語りかけてくるメッセージや、音楽が見せてくれる情景を一人ひとりが受け止められるようになりましょう。

学習後

○分からないことや、楽器の練習などがある場合は、気軽に音楽室に来てみて下さい。

○ノートやプリント等、課題の提出は必ずしましょう。

評価の仕方

○表現活動（歌唱・器楽・創作）に、意欲的に取り組むことができる。

○関心をもって様々な音楽を鑑賞することができる。

○音楽雰囲気や特質などを感じ取り、発言することができる。

○ノートやプリント等、課題に取り組むことができ、期日を守って提出できる。

以上のことに加え、作品、実技テスト、ペーパーテスト等を総合して評価します。

先生からのメッセージ

○楽しく学習するためには、基本的なことを学習しておくことも大切です。一見難しそうに見える楽譜も、ゆっくり学習すれば、少しずつ理解できるはずです。あきらめずに学習しましょう。

○「好きこそものの上手なれ」の言葉通り、興味を持てば持つほど、音楽が得意になれるはずです。興味を持って頑張りましょう。

○音楽は、時間と空間の中に鳴り響き、存在するものです。毎時間が、生き生きとした新しい表現を生み出す場となるよう、一緒に音楽に取り組みましょう。